

1 平成29年度政策財政運営の基本方針

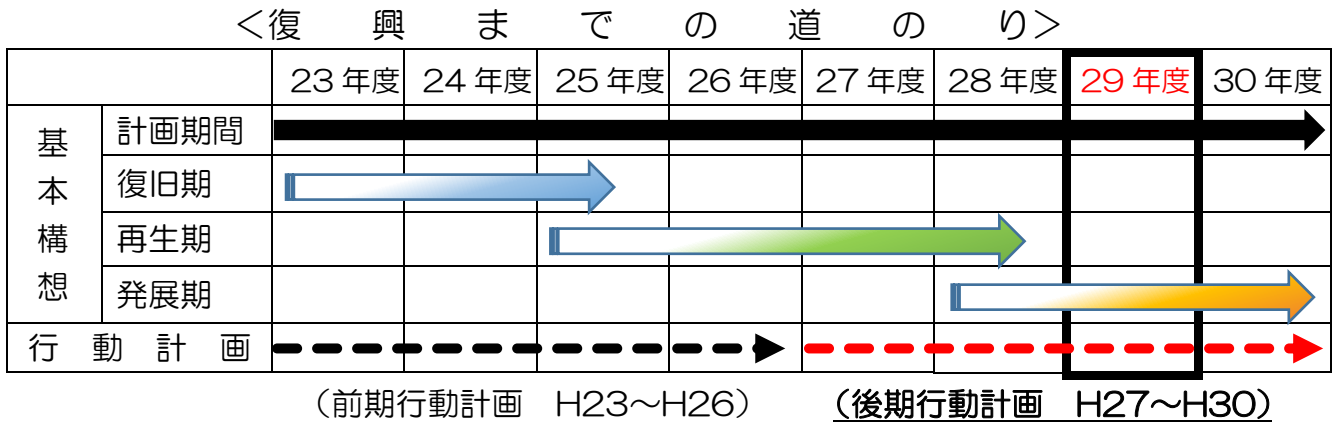
● はじめに

I 政策展開の方向性

「光陰矢のごとし」、千年に一度という、あの忌まわしい東日本大震災の発生以来、我が町は、「チーム山元・心をつなぐ」に、子々孫々に誇れる「新生やまもと」の実現を目指し、安全・安心を最優先とした創造的復興に向け、果敢に挑戦して参りました。

これまで、一步一步、着実に取り組んできた復興まちづくりであります。創造的な復興・創生に向けた取り組みは、未だ、その途上にあります。

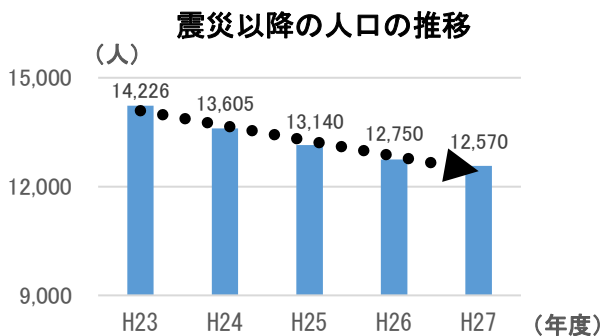
平成29年度は、「山元町震災復興計画」(以下「震災復興計画」という。)における「発展期」の2年目となっており、名実ともに後世に誇れる「新生やまもと」を実現するため、引き続き、次の5つの「重点プロジェクト」を戦略的に展開していくこととしております。



平成29年度においては、「復興・創生」へ向けた施策を着実に進めるため、震災復興計画(後期行動計画)に基づく事業に最優先事項として注力しつつも、限りある財源の中ではありますが、行政区や町民の皆様方から頂いた様々な要望や、新たに顕在化した課題の解決に努め、より暮らしやすいまちづくりに取り組んで参ります。

5つの重点プロジェクト

- (1) 住まいる(スマイル)プロジェクト
- (2) 山元ブランド再生プロジェクト
- (3) 人口減少・少子高齢対策プロジェクト
- (4) 笑顔が集う、にぎわい創出プロジェクト
- (5) 防災力向上プロジェクト



また、震災からの復興・創生と並行して、持続可能なまちづくりを目指し、人口減少問題に改めて危機意識を持つとともに、国及び県の総合戦略を踏まえながら、「山元町地方創生総合戦略」に掲げた施策について、成果を検証しながら、さらなる充実に努めます。

II 財政運営の方向性

平成29年度の予算編成に当たっては、震災復興計画に掲げる「後期行動計画」や「町長公約」の実現を最優先としつつ、その他の行政課題についても住民に最も近い基礎自治体である町ならではの創意工夫を凝らし、適時、的確に対応することを目指します。

また、復興・創生後の町の財政運営は厳しい見通しにあることを念頭に、優先順位付けの徹底、新たな歳入確保策の検討、既存・類似事業の見直しや民間活力の導入など、様々な方策を検討することにより、将来にわたり持続可能な財政運営に配慮した予算編成に努めます。

1. 事業の優先順位付けを徹底

政策目標を明確なものとするため、毎年ローリングを行っている中期財政見通しを参考にしながら、人口減少を見据えた公共施設のあり方や事務事業の見直しなどを徹底的に行い、事業効果や効率性の向上を図り、緊急性等が低いと判断した事業については、年次計画の見直しや、廃止・縮減等、スクラップを徹底することにより、各部署において特に優先的に取り組むこととした事業の財源を捻出します。

2. 新たな歳入確保策の検討

産業振興や定住化促進といった人口減少問題対策をはじめ、雇用の拡大や町民所得の向上など税収の増加につながる各種事業を展開するとともに、町税等の収納率向上対策に努め、また、ふるさと納税制度や有料広告に続く新たな収入確保策についても、鋭意検討します。

3. 民間活力導入の検討

今年度から新たに取り組んでいる、復興公営住宅の包括管理業務や、シルバー人材センターの活用等、民間活力の導入を検討するとともに、我が町の魅力や付加価値を高め、将来の税収の増加に寄与する取り組みや交流人口拡大に向けた集客力の高いコミュニティビジネス等の支援を検討します。

4. 持続可能な財政運営の確保

今後想定される人口減少、少子高齢化の影響により、自主財源である町税は、震災前の水準まで回復が見込めない状況でありますので、本町の財政状況を十分に理解し、単に近隣市町村や同規模類似団体における取り組みに合わせることなく、将来の財政運営に過度な負担を強いることが無いよう、事業の見直しや縮減に努めるとともに、新たに整備した市街地や公共公益施設の維持管理等を踏まえ、適正な受益者負担についても検討します。